

ゲンロン カオス*ラウンジ 新芸術校
グループ B 展示「眩暈」開催のお知らせ



2018年9月から12月まで、毎月、新芸術校受講生による新しいグループ展を五反田アトリエにて開催。
10月13日（土）にはその第2弾となるグループBの展示「眩暈」がオープン。キービジュアル、デザインは青木美紅による。

（1）概要

2018年10月13日より21日まで、東京・五反田のゲンロンカオス*ラウンジ五反田アトリエにて、ゲンロンカオス*ラウンジ新芸術校第4期生グループ展、グループB「眩暈」展を開催いたします。新芸術校第4期生のうち9名の作家が、それぞれの実存的背景に潜む複雑な経験、眩暈の中でしか捉えられないようなそれを可視化することを試みます。皆様のご来場をお待ちしております。10月20日（土）にはゲスト講師に飴屋法水氏をお迎えし、講評会を開催いたします。講評会の模様は生中継で無料ネット配信を行います。遠方にお住まいのかたにも展覧会をご覧いただける機会となります。ぜひご利用ください。

ゲンロンカオス*ラウンジ新芸術校では、2017年度よりカリキュラムに展示を取り入れていきます。毎年秋から冬にかけての4ヶ月、受講生が4つのグループに分かれて展示を作ります。これらの展示では、批評家・黒瀬陽平主任講師の指導のもと、受講生がみずから企画・キュレーション・作品制作を行っています。展示には毎回、ゲスト講師をお招きして講評会を実施し、その模様はニコニコ生放送のゲンロン完全中継チャンネルにて無料生中継します。生中継では、受講生＝作家による作品の解説のほか、講師のみなさんによる作品の評価、展示の総評などを放送予定です。ゲスト講師には鴻池朋子氏、飴屋法水氏、高山明氏、宇川直宏氏をお招きします。

4回のグループ展は最終講評会への選考も兼ねており、これらの展示で卓越した力を発揮した受講生5名は、3月にゲンロンカフェで行われる最終講評会に出品することができます。

ゲンロンカオス*ラウンジ新芸術校は思想家・東浩紀が運営する株式会社ゲンロンが2015年に立ち上げたアートスクールです。美術批評家の黒瀬陽平氏を主任講師に、会田誠氏、榎木野衣氏、岡田利規氏、宮台真司氏ら、多彩なゲスト講師をお迎えして、美大とは異なる形で美術家を育成してきました。第1期の最終講評会で優秀賞を受けた弓指寛治氏

(<https://www.yumisashikanji.com/>) は、第 21 回岡本太郎現代芸術賞 (2018 年 2 月) において銀賞に当たる岡本敏子賞を受賞、第 2 期優秀賞の磯村暖氏 (<http://danisomura.tumblr.com/>) は台湾やロンドン、タイなど、国際的に活躍の場を広げています。第 3 期優秀賞の新井健氏は、2018 年秋にワタリウム美術館地下のギャラリー、オン・サンデーズで個展「OUTTASTEP」

(<https://bijutsutecho.com/ex-hibitions/2532>) を開催しています。ほかにも、中央本線画廊を運営する秋山佑太氏 (<http://yutumn.com/>) ら、新芸術校出身の作家たちは活躍の場を広げています。

(2) 展示概要

【グループ B】眩暈

参加作家 アイコン (SHU-TING CHANG)、青木美紅、江原沙保梨、すーちゃん、杉本幸子、林修平、松浦香帆、松枝昌宏、PHILIPP AUBERT

展示期間 2018 年 10 月 13 日 (土) ~ 10 月 21 日 (日)

※10 月 20 日 (土) は講評のため終日休廊となります。

会場 ゲンロン カオス*ラウンジ 五反田アトリエ

〒141-0022 東京都品川区東五反田 3-17-4 糟谷ビル 2F Tel: 03-5422-7085

開廊時間 平日 15:00-20:00、土日祝 13:00-20:00 (講評会実施日を除く)

website <http://chaosxlounge.com/wp/archives/2377>

講評会日時 2018 年 10 月 20 日 14:15~17:30 ※会場参加は受講生のみとなります。

講評会ゲスト講師 飴屋法水氏

講評会生放送番組 URL <http://live.nicovideo.jp/gate/lv316055139>

展示ステートメント

「眩暈」はゲンロンカオス*ラウンジ新芸術校 4 期生のうち、グループ B に属する 9 名による展覧会です。

本展が焦点を当てようとしているのは、現実を知覚している「私」と、「私」の外部に存在する諸々の間に展開している領域です。それは変容の過程や運動そのものに対する関心と言っても良いかもしれませんが。いまここで私たちに見えている世界は、周囲のイメージからの働きかけ次第で良くも悪くも容易に転変してしまいます。その寄る辺なさをどう逆手に取る事ができるのか。ここで強調しておきたいのは、本展の態度は反-現実的なものではなく、半-現実的な曖昧な領域に対するアプローチにあるという事です。象徴的な例として、作家の一人はイメージ・リハーサルという治療法に注目しています。PTSDなどを原因とした「悪夢」に対する治療に用いられるものです。具体的には「悪夢」の内容を一旦紙に書き出し、より良い内容に書き換えることによって夢の内容をコントロール下に置こうという試みであり、そこには夢と現実が複雑に絡み合う往還があります。このように本展はそれぞれの実存的な背景からスタートし、そこに潜在する複雑な経験を可視化しようとする手段として企図されています。本展はその不安定で曖昧な場所に一旦とどまる事を可能にする装置であり、私たちは、チカチカとした眩暈の中でしか見られないような何かを、その空間に投影することを試みた 9 つのモデルを提示します。(林修平)

(3) ゲンロン カオス*ラウンジ 新芸術校第 4 期最終講評会予定

実施日 2018 年 3 月 2 日(土)

審査員 岩淵貞哉氏、津田大介氏、和多利浩一氏、黒瀬陽平氏

(4) 主催、協力、お問い合わせなど

主催 株式会社ゲンロン **協力** 合同会社カオスラ

新芸術校公式サイト <http://school.genron.co.jp/gcls>

新芸術校公式フェイスブック <https://www.facebook.com/genrongcls>

新芸術校公式ハッシュタグ #新芸術校

お問い合わせ E-mail: info@genron.co.jp Tel: 03-6417-9230 (担当上田)